



2023年度 (令和5年度) 年次報告書

特定非営利活動法人
京都地球温暖化防止府民会議
(京都府地球温暖化防止活動推進センター)

2024年6月発行

目次

- 0. 法人とセンター……………P.1
- ★. 20周年記念事業……………P.3
- 1. 地球温暖化防止府民活動推進事業……………P.4
- 2. 再生可能エネルギー普及支援事業……………P.9
- 3. 市町村と連携した地域脱炭素推進事業……………P.11
- 4. その他……………P.14

0 法人とセンター

● 私たちが目指すのは、「脱炭素型のステキな京都」です

2023年10月、京都府地球温暖化防止活動推進センターは**20周年**を迎えました。これまで多くの皆様に支えられ、連携しながら事業を継続できてきたことに感謝いたします。

しかし、気候変動は悪化の一途をたどっており、2023年の世界の平均気温は過去最高を記録しました。このままでは、産業革命前から**1.5℃**上昇にとどめるといった世界の目標達成が難しい状況です。今、大きな変化を起こす時期にきています。

脱炭素化対応での断熱でエネルギーが少なく済む家は、暖かくて健康にも家計にも優しく、公共交通が残る街は、子どももお年寄りも移動がしやすい街です。その変化は、我慢や努力を強制するものではなく、私たちが望む住みやすい地域づくりであり、脱炭素型のステキな京都をつくりだすことにつながっていきます。



法人及びセンター役員 (2024年3月31日現在・敬称略)

- 理事長：松原斎樹(センター長・京都府立大学)
- 副理事長：田浦健朗(副センター長・NPO法人気候ネットワーク)
- 専務理事：木原浩貴(副センター長・たんたんエナジー株式会社)
- 理事：
 - 児島宏尚(京都商工会議所)
 - 瀧上佑樹(三重大学)
 - 的場信敬(龍谷大学)
 - 溝内啓介(NPO法人コンシューマーズ京都)
 - 味田佳子(NPO法人エコネット丹後)
 - 宗田好史(関西国際大学)
 - 本永治彦(京都工業会)
 - 森田雅子(京都府連合婦人会)
- 監事：清水仁志(税理士)
- 顧問：松田直子(株式会社Hibana)
- 顧問：浅岡美恵、郡嶋孝、原強

Vision

脱炭素型のステキな京都

Mission

ビジョン実現に向け、各々の立場を活かして取り組む担い手を増やし、担い手同士をつなぐなどして、その活動を活性化すること

Action

- ①担い手のサポート
- ②モデル的な取組づくり
- ③対策の面的展開

● 法に基づき、府知事による指定を受けて活動しています

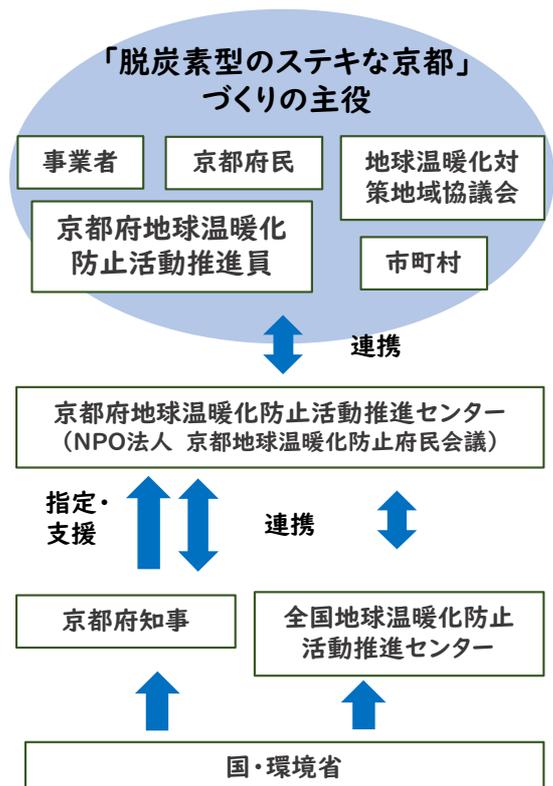
NPO法人京都地球温暖化防止府民会議は、2003年10月に、地球温暖化対策推進法に基づき京都府知事より京都府地球温暖化防止活動推進センターに指定されました。

センターの指定は全国で18番目となり、**センター運営のための法人を新たに設立したのは、全国初の試み**でした。

京都府地球温暖化対策条例には、「府は、京都府地球温暖化防止活動推進センターが、地球温暖化対策を担う**中核的支援組織**として、事業者、府民及び環境保全活動団体の積極的な取組を促進する役割を果たすことができるよう、その支援に努めるものとする」と記載されています。

私たちは、環境保全のための1団体ではなく、府知事指定の中間支援組織として、皆様との連携のもとに活動をすすめています。

以降、本冊子では下記のように表記します。
 京都府地球温暖化防止活動推進センター→センター
 京都府地球温暖化防止活動推進員→推進員
 地球温暖化対策地域協議会→地域協議会



つながり・つくる・広げる ～これまでの代表的活動～

夏休みのこどもたちの宿題の定番、**夏休みCO₂ゼロチャレンジ**(旧:夏休み省エネチャレンジ)は、累計で**228,507世帯**(2003年～2023年)が参加してくれました。

未来を描く子どもたちの発想は、将来の京都の脱炭素地域をつくる原動力となっています。



研究者らとともに地域エネルギー会社「たんたんエナジー」の立ち上げ・運営を支援し、地域のエネルギー政策を推進しています。たんたんエナジーは、福知山市の全小中学校をはじめとする公共施設に対し、主に丹波地域で作られた再エネ電力を供給している他、中学校等の屋根を活用した「**市民出資型再エネ発電所+防災拠点づくり**」を行っており、その設置規模は約600kWに達しています。



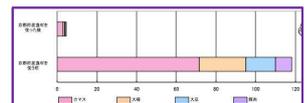
「京のアジェンダ21フォーラム」の社会実験から始まった**家電製品省エネラベル**。センターは、市町村やNPO、推進員との連携で、これを京都府全域へ、そして全国へと拡大。資源エネルギー庁の委員会に委員を派遣し、現在の「統一省エネラベル」制度づくりに参画しました。



京都府の「**ウッドマイレージCO₂を組み込んだ京都府産木材認証制度**」に制度設計段階から参画。平成16年の制度立ち上げ以降、約4,400通の証明書を発行。のべCO₂削減量は5,000トンにも。京都府産木材利用の拡大と、木材輸送によるCO₂削減に取り組んできました。



KGPNや行政機関との連携で、学校給食や社員食堂での「**旬の京都府産食材**」の利用拡大キャンペーンを実施。一次産業の活性化と食材輸送によるCO₂削減に取り組んできました。フード・マイレージCO₂を計算したところ、90%以上削減された実績がいくつも確認されています。



京都シニアベンチャークラブで行われていた**中小企業の省エネ無料診断活動**は、センターで行っていた府内の先進的取組を競うコンテスト「**きょうとECO-1グランプリ**」をきっかけに京都府の施策になり、今でも継続されています。



様々な方々とつながり、事例をつくり、活動を広げて、**脱炭素型のステキな京都へ** あゆみを続けています。



20周年記念事業

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、2003年10月10日に、京都府より指定を受け、発足してから20周年を迎えました。その少し前（同年9月10日）に設立した特定非営利活動法人京都地球温暖化防止府民会議も同じく20周年となりました。



20周年ロゴ作成

2023年6月から2024年5月までを「20周年記念事業期間」として、一般の方向けのイベントやキャンペーン等において「20周年ロゴマーク」等を活用し、センターの知名度向上を行いました。

SNS等でも発信しました→



設立20周年イベント



2024年1月16日（火）午後、京都ブライトンホテルにて、京都府地球温暖化防止活動推進センター設立20周年イベント「気候変動と京都府の温暖化防止活動のこれから」を開催しました。



第1部は、センター長挨拶、事務局長によるセンターの活動紹介、トークセッションを行いました。トークセッションは「西脇知事と行き活きトーク」として、京都府の西脇知事と、推進員の葛山知佳子さん、味田佳子さん、副センター長の木原（たんたんエナジー）、田浦（気候ネットワーク）に、毎日身近なところからできる活動やこれからの課題まで、幅広くお話をいただきました。

第2部は交流会を実施し、たくさんの方とお話をすることができました。

会場には、京都の推進員、NPO法人の会員、環境団体・市民団体、事業者団体、大学、学生、京都府、環境省、市町村、近隣の温暖化防止センターなどから、さまざまな方々が駆けつけてくださいました。

総勢96名の方にご参加いただきました。



トークセッションの概要は、webサイトでも紹介しています

会員募集チラシをリニューアル →



府民活動推進

京都府地球温暖化防止府民活動推進事業

● 情報発信

インターネットを利用し、ホームページと様々なSNSを駆使して情報発信を行いました。

月に1回のKCFCAニュースで、センターの活動・温暖化の最新情報・地域のイベント情報を配信しました。

季刊で「Webうおーみんぐ」と題し、温暖化関係の特集記事と、推進員の活動紹介を掲載して発信。また、Webうおーみんぐを広報するチラシを印刷配布しました。



● 情報発信のサポート・啓発グッズ貸出

新しく作成したパネルや、手回し発電機・わなげなどの啓発グッズを多くのイベントや授業で、推進員や教員の皆様にご活用いただきました。



貸出啓発グッズの一覧や貸出方法は、
<https://www.kcfca.or.jp/tool/>

啓発グッズ貸出回数 **68回**
貸出アイテム数 **のべ 745アイテム**



● 「夏休みCO₂ゼロチャレンジ」で家族ぐるみの取組を促進



CO₂排出ゼロの未来について、家族で考える取組です。「ゼロの暮らしを想像する」「ゼロにするための秘密道具を想像する」「気候変動に関するニュースを調べる」などの中から選んだものを、絵や文章でチャレンジシートに書いてもらいました。



↑ 児童の書いた
チャレンジシート

参加学校数
100校

参加世帯数
10,089世帯



参加賞として、CO₂ゼロの町が表紙の「ミニノート」と、「エコ家族認定証」を作成・配布しました。認定証は紙資源節約のため、昨年度までのA4サイズからA5サイズに小さく変更。CO₂ゼロに向けたメッセージも記載したところ、先生からも好評でした。

基本の対象を4年生以上とし、希望する学校を募り配布をしました。参加率の高い優秀校には、知事による表彰に加え、協賛企業の協力を得て環境教育教材を贈呈しました。

夏休みCO₂ゼロチャレンジ協賛企業

大阪ガスネットワーク株式会社・一般社団法人京都中小企業家同友会宇治支部・京都トヨペット株式会社・月桂冠株式会社・株式会社SCREENホールディングス・象印マホービン株式会社・たんたんエネルギー株式会社・ホリモク株式会社

● 推進員活動の支援

研修会の開催、啓発資材の貸出、活動現場にうかがってのお手伝い、活動支援金のお支払いなど、様々な形で推進員の皆様の活動に関わらせていただきました。

推進員活動回数は、報告されたもの、かつ対外的な活動だけで、のべ1,771回に上りました。府内各地域で工夫をしながら多くの活動が展開されています。その内容も啓発活動だけにとどまらず、脱炭素型の地域づくりの活動も、推進員の皆様によって行われています。

推進員のべ活動件数 **1,771回**
報告されたものの中から、対外的な活動のみをカウント

推進員活動についてはこちら
<https://www.kcfca.or.jp/project/leaders/>



推進員活動回数一覧

活動内容	件数
イベントでの啓発	424
子ども向け出前講座	319
森林保全活動	203
家庭の省エネ相談・診断	164
みどりのカーテン普及	120
メディアを使った情報発信	107
大人向け出前講座	86
事業所の省エネ相談・診断	56
その他(地産地消、防災、廃食油回収を含む)	292
合計	1,771

推進員の活動を支援するために研修会も開催しています。

第1回推進員研修 テーマ:世界の脱炭素潮流の中で、地域から頑張るには?
(4/22京都市、YouTubeライブ配信、YouTube限定配信)105名

第2回推進員研修 テーマ:これだけは知っておきたい基礎知識
(7/2京都市、7/5福知山市、YouTube限定配信)123名



↑
第2回研修の様子

● 省エネ相談所・京都クールチョイス相談開催と養成研修

家庭部門でのCO₂排出を直接相談によって削減することを目的に、「省エネ相談所」を実施しました。府内10カ所、合計200名に相談を受けていただきました。さらに、家庭の省エネアドバイザーと京都クールチョイス相談員の養成研修を実施し、11名の参加がありました。



省エネ相談所の様子



養成研修の様子

京都府地球温暖化防止府民活動推進事業

● 温暖化教室

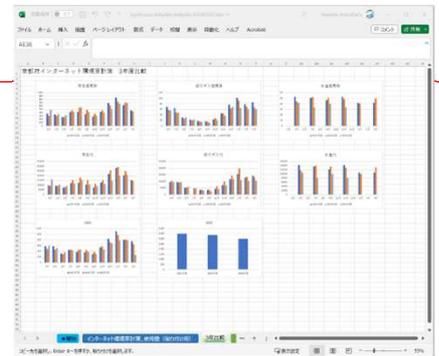
小学校・中学校・高等学校の児童生徒を対象とする出前教室を実施しました。また、他団体が開催する学習会に講師を派遣しました。



● インターネット環境家計簿

エネルギーの使用量と使用金額、CO2排出量が見える化できる京都府インターネット環境家計簿の運営を行いました。また、入力したデータを利用し、複数年を比較し分析できるExcelシートを作成し、ホームページにて公開しました。

インターネット環境家計簿→
<https://www.kyoto216.com/kakeibo/>



複数年を確認できるExcelシート

京都府 オンライン気候変動学習教室運営業務
 中学生向けエネルギー・温暖化防止学習プログラム

● WEBでパンダと学ぼう気候変動！

中学生を対象とした「WEBでパンダと学ぼう気候変動」を実施。気候変動を学ぶ動画を見た後、それに関するクイズに挑戦し、全問正解するとSDGsにちなんだ景品に応募できるという仕組みです。動画では、SDGs目標13や気候変動問題の現状、課題、解決に向けての取り組み事例等の説明を行いました。



バイオプラのタンブラーと
 京都府産木材のスマホ立て

クイズ回答数 のべ993回
 景品応募者数 313人
 動画再生数 のべ883回

環境省補助 地域における地球温暖化防止活動促進事業

● 京都の住宅断熱キャンペーン2023

住宅の断熱性能を上げると、省エネだけでなく健康面や快適性等にもメリットがあることを伝えるキャンペーンを実施しました。キャンペーンチラシを工務店やリフォーム事業者、推進員等と連携して配布。また、イベントブース出展等での啓発や、京都府WE DO KYOTOユースサポーターと連携してSNSで情報発信等を行いました。



● やってよかった省エネキャンペーン

脱炭素社会への受容度を高めるため、「暮らしや地域を豊かにしつつ温室効果ガスを減らすことができる」ことを発信するキャンペーンを実施。新たな展示物を作成したり、昨年度作成した『やってよかった省エネ冊子Part2』（推進員の実体験を掲載）を活用し、ブース出展等を行いました。また、推進員等にも活用を呼びかけました。



脱炭素に取り組む医療従事者の団体「みどりのドクターズ」と連携してセミナーを実施。

● 啓発資材の整備



イベントでの活用の要望が多い展示パネル・掛け軸型展示を作成しました。また、小さな子どもから大人まで気軽に参加できる「まちがやさし」パネルと記入シートを整備。推進員等にも提供し活動支援を行いました。

環境省補助 地域における地球温暖化防止活動促進事業

● 推進員活動交流会

9/3(日)貸出教材活用交流会
 12/9(土)北部交流会
 12/21(金)南部交流会 を実施しました。



● 長田野工業団地にてモデル的に事業者の支援を試行実施

京都府及び福知山市と連携して事業者向けにアンケートを実施(12月)しました。アンケート結果を利用し、積極的な事業者にヒアリングを行い、省エネ支援のための脱炭素省エネ診断を1社に、再エネ設置支援のための再生可能エネルギー計算を1社に行いました。

合同研修会「長田野工業団地の脱炭素化に向けて今、求められること」を2月13日に開催しました。



「府民活動推進」の全体像と主な成果

<京都府委託 京都府地球温暖化防止府民活動推進事業>

相談窓口の設置

地球温暖化防止活動に関する情報提供 (月1回 KCFCAニュース発行・年4回 Webうおーみんぐ配信・案内チラシ合計14,000部発行) Webサイト運営(アクセス・リーチ数363,199件)

京都府地球温暖化防止活動推進員研修会の開催(のべ5回)

推進員活動支援金の支給(活動支援金支払対象者:154人 推進員活動実績:1,771回)

環境教育教材を推進員・市町村等へ貸出(貸出回数:のべ68回 貸出アイテム数:のべ745個)

温暖化教室(小学校等での環境教育)(実施回数:18回、のべ参加者数:589人)

エコライフ推進(「夏休みCO2ゼロチャレンジ」10,089世帯 インターネット環境家計簿3,892人)

家庭の省エネ相談所の実施及び実施支援(実施回数:10回 参加者数:200人 支援1回)

家庭の省エネアドバイザー・京都クールチョイス相談員養成講座開催

<京都府委託 オンライン気候変動学習教室運営業務>

中学生向けエネルギー・温暖化防止学習プログラム「WEBでパングと学ぼう気候変動」

(クイズ回答数のべ993回、景品応募数313名、動画再生数のべ883回)

<環境省補助 地域における地球温暖化防止活動促進事業>

京都の住宅断熱キャンペーン2023(チラシやSNSで情報発信、ブース出展5回のべ1,695人等)

やって良かった省エネキャンペーン(冊子3,000部、ブース出展7回1,087人、セミナーのべ54人等)

啓発資料の整備、推進員活動交流会、市町村ヒアリング実施等。

事業者支援(長田野工業団地にてアンケート、ヒアリング、省エネ診断・再エネ支援、合同セミナー実施)

京都府地球温暖化防止活動推進連絡調整会議の開催(2回)

<全国センターJCCCA連携 断熱啓発資料の活用調査業務>

令和4年度作成啓発ツール使用活用状況調査

2 再エネ普及支援

京都再エネコンシェルジュ認証制度に係る支援、普及啓発業務

● 京都再エネポータルサイト運営 京都再エネコンシェルジュサポート



<https://kyoto-saiene.net/>

「京都再エネポータルサイト」の運営を行い、府内の一般家庭が再エネを導入するにあたり必要となる情報を整理し、だれもが簡単にアクセスできるようにしました。

- ・再エネ設備に関する情報
- ・府内の市町村等による再エネ導入支援策に関する情報
- ・京都再エネコンシェルジュに関する情報、等

京都再エネコンシェルジュの活動をサポートしました。

- ・再生可能エネルギー関連の情報や研修情報を共有
- ・京都再エネコンシェルジュ「ニュース」を月1回メール発行
- ・京都再エネコンシェルジュを取材、紹介記事を掲載（3件）

ポータルサイト
訪問者数 **265,165**



『京都再エネポータルサイト』インタビュー
<https://kyoto-saiene.net/interview/>



『今こそ再エネ!』キャンペーン

京都再エネコンシェルジュと協力し、「京都再エネコンシェルジュが応援『今こそ再エネ!』キャンペーン」と題して府民へ啓発活動を行うキャンペーンを9月と2月の2回実施しました。のべ25事業者が参加しました。

● 「再エネわくわくフェア2023夏」 商業施設での啓発

2023年9月10日（日）に、商業施設イオンモール京都桂川で啓発イベント「再エネわくわくフェア2023夏」を実施しました。京都再エネコンシェルジュに希望を募り、応募のあった4事業所にブース出展していただきました。イベントを一周するクイズラリーには480名の参加者がありました。

再エネ体験ブースでは、太陽光発電、風力発電、水力発電、蓄電池体験、木質ペレットをショベルカーですくう体験などのコーナーを設置。

コンシェルジュによるペレットストーブや電動バイクなどの展示もあり、親子で楽しんでいただきました。当日会場にイベントのPRでまゆまろにご登場いただき、大いに盛り上がりました。



参加者 **480名**

京都再エネコンシェルジュのブース



京都府補助 京都府未利用地活用再生可能エネルギー導入促進事業

● 事業者向けソーラーカーポート等 補助金

京都府の補助金として、コロナ禍における中小企業等の事業継続と経営改善を支援するため、駐車場等の自社の未利用地を活用した太陽光発電設備（ソーラーカーポート等）の導入費用に対する補助を実施しました。

導入に関する疑問や不安を解消するために「ソーラーカーポート導入セミナー（10/3）」も実施しました。

補助対象は、ソーラーパネル・カーポート・蓄電池・非常用電源コンセントとし、再生可能エネルギーの普及とともに非常時のレジリエンス強化を目指しました。



自主事業 団体連携

● 市民再エネプロジェクトin京都

温暖化を防止するさまざまな活動を続けてきた団体が、市民共同発電所をさらに広げようと連携した市民再エネプロジェクト。太陽光発電と蓄電池を市民が共同で設置する施設を募集しました。

発電がスタートしたウトロ平和祈念館で点灯式（4/30）が行われました。

市民再エネプロジェクト参加団体：NPO法人京都地球温暖化防止府民会議、認定NPO法人気候ネットワーク、一般社団法人市民エネルギー京都、NPO法人エコネット近畿、認定NPO法人きょうとグリーンファンド



自主事業

● 地域新電力と地域エネルギー推進

協定を締結しているたんたんエナジー株式会社と連携して、市民協働発電所の設置を推進しました。福知山市立桃映中学校と福知山市三和荘の屋根に74kWの太陽光発電設備が設置されました。



「再エネ普及支援」の全体像と主な成果

<京都府委託 京都再エネコンシェルジュ認証制度に係る支援、普及啓発業務>

住宅での再生可能エネルギー利用に関する情報整備と発信（京都再エネポータルサイトの運営）

再エネコンシェルジュインタビュー（3名3件）、京都再エネコンシェルジュと協力した啓発活動（のべ25事業者参加）、商業施設等での啓発活動（480名）

<京都府補助 京都府未利用地活用再生可能エネルギー導入促進事業>

ソーラーカーポート等補助金

<自主事業 市民再エネプロジェクトin京都>

設置場所募集、寄付金募集広報（1カ所設置+申込2カ所）

<自主事業 地域新電力と地域エネルギー推進>

市民出資募集広報協力（2カ所設置）

3 市町村連携

京都市 省エネ行動促進プログラム実施業務

● 家庭の省エネ診断（うちエコ診断）の実施

京都市の省エネ行動促進プログラム事業の一環で、家庭の省エネ診断（うちエコ診断）を実施。コロナ対策として、対面ではなく書面にて診断を行いました。省エネに関するアンケート調査票にご記入いただき、後日それをもとに作成した診断結果報告書をご自宅へ送付しました。合計で、12学区、2団体、4イベントで実施し、471名（うち京都市民450名）に受診していただきました。

また、学区ごとの分析と省エネの取組をまとめた「家庭の省エネハンドブック」を作成し、全受診者に送付。事後調査も行いました。CO₂削減量は、353t-CO₂、削減率は受診者全体の排出量の16.8%でした。

（※削減量は実測値ではなく、診断後の取組内容からのみなし量です。）

加えて、アフターフォローとして省エネ学習会を実施し、家庭でできる省エネの体験談等を共有することで具体的な行動への橋渡しをしました。



イベントでアンケート調査票の配布



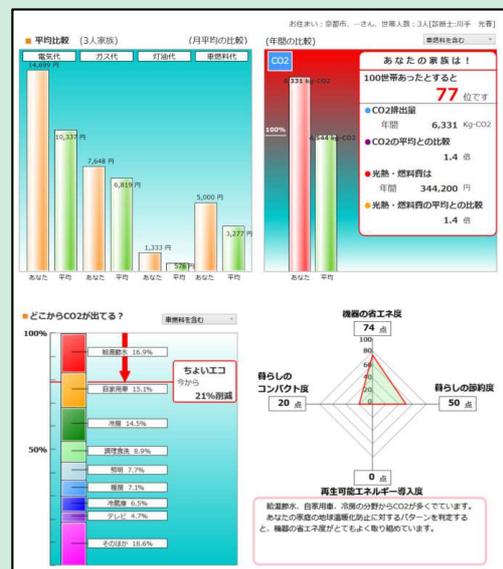
Zoomを利用した診断士研修会

うちエコ診断件数 471件
みなし削減量 353t-CO₂

うちエコ診断とは

家庭のエネルギー消費量や家電製品、設備機器利用状況をもとに、専用のアプリケーションをもちいて、環境省の公的資格である「うちエコ診断士」が、家庭の省エネ診断を行うものです。

「一般的な呼びかけ」ではなく、「受診された家庭にピッタリの取組と一緒に考える」点が特徴です。



京都市 省エネ行動促進プログラム実施業務

● アフターフォローの省エネ学習会

家庭の省エネ診断のアフターフォローとして、「電気代高騰に備え、省エネ術を知ろう」というテーマで省エネ学習会（7回実施：77名参加）を実施しました。家庭でできる省エネの体験談をはじめ、導入コストや電気代削減率等の具体的なデータを共有することで、省エネ行動を後押ししました。

参加者からは、「シャワーを使う時間を見直します。」「補助金の情報が聞けて良かった。」等の感想がありました。



省エネ学習会

● 家庭の省エネ診断実施後の「学区等の分析」



家庭の省エネ診断の受診者が5名以上の9学区と4イベントについては、診断結果の分析を行いました。平均で、家庭のどこからCO₂が多く排出されているのかグラフと共に分かりやすく明示し、上位3位までは、省エネ対策のポイントを詳しく説明しました。

さらに、暖房関連、窓ガラスの種類、自動車ピックアップして、分析結果をグラフとともに掲載しました。

● 「家庭の省エネハンドブック」の送付

過去の診断の分析から、CO₂排出量の多い分野の省エネのコツと、0円ソーラーと内窓設置の実践者の声を、家庭の省エネハンドブックとしてまとめました。このハンドブックを診断結果報告書と一緒に受診者全員に送りました。受診者が多かった4学区では、7,900世帯へ全戸回覧していただきました。

省エネ行動への意欲が湧くように、昨年度の全受診者が診断後に削減できた光熱費の平均金額が約3万円だったことや、国の補助金情報「住宅省エネキャンペーン」を、表紙にシールを貼って目立つように掲載しました。



家庭の省エネハンドブック
回覧：7,900世帯



省エネハンドブックPDF

市町村連携

● 市町村連携イベント支援

市町村と連携し、イベントでの啓発を実施しました。

10/28 丹後万博 ゼロカーボンクイズ大会(京丹後市)

11/25~26 エコフェスキづがわ 謎解きブース(木津川市)

エコフェスキづがわ 謎解き



エコフェスキづがわ 謎解き まちがいで探し



丹後万博ゼロカーボンクイズ大会



自主事業

● 市町村職員対象オンライン研修プログラム

地方公共団体実行計画(事務事業編)の実施に係る全庁職員を対象とした研修プログラム(動画およびオンラインアンケート)を企画。京丹後市、舞鶴市、京田辺市、久御山町の4市町から申込があり、計655人の職員が参加しました。



「市町村と連携した地域脱炭素推進」の全体像と主な成果

<京都府地域センターうちエコ診断実施機関>

うちエコ診断士(27名)登録、

450件の診断実施(京都市委託) みなしCO₂削減量345トン(事後調査票201件の分析結果)

<京都市委託 省エネ行動促進プログラム実施業務>

うちエコ診断士対象研修会(補助金及び京都市省エネ行動促進プログラムに関する事項)

家庭の省エネ診断(うちエコ診断)調査票配布(12学区と2団体、4イベント)

京都市450件の診断を実施

家庭の省エネハンドブックを作成し、受診者全員に配布

家庭の省エネハンドブックは、4学区で全戸回覧(780冊、7,900世帯)

<市町村連携イベント支援(木津川市・京丹後市)>

エコフェスキづがわブース運営

丹後万博ゼロカーボンクイズ大会運営

<自主事業 市町村職員対象オンライン研修プログラム>

市町村職員向けオンライン研修プログラムの提供 4市町、655人受講

4 その他

● 講師・委員派遣等 (主なものを抽出して掲載)

委員・役員等

<京都府>

- ・京都府環境審議会
- ・地球温暖化対策プラン検討会議委員
- ・再生可能エネルギー導入促進プラン検討委員
- ・京都丹波スマート環境推進プラットフォーム検討会
- ・京都環境フェスティバル実行委員会委員・監事
- ・地域脱炭素化促進区域設定基準に関する 専門委員会
- ・地域脱炭素化に向けたESG投資研究会
- ・地域脱炭素・京都コンソーシアム

<国-環境省近畿地方事務所>

- ・近畿地域エネルギー温暖化対策推進会議
- ・気候変動適応近畿広域協議会委員

<団体等>

- ・(公財)京都市環境保全活動推進協会事業運営委員、プログラム・人材育成小委員会
- ・京都知恵産業創造の森 京都スマート社会推進連携会議

<市町村>

- ・福知山市 環境審議会委員
- 同 福知山市企業交流プラザのありかた検討会委員
- ・宇治市 環境保全審議会委員
- ・向日市 環境推進会議委員
- ・長岡京市 生活環境審議会委員
- ・京丹後市 美しいふるさとづくり審議会
- 同 地球温暖化対策実行計画協議会
- ・木津川市 環境審議会委員
- ・久御山町 環境審議会委員
- ・京田辺市 環境基本計画推進委員会
- ・京都市 京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム委員

講師派遣 (講演会・研修・事例報告等)

<京都府>

- 6/10、7/18 高校生気候変動学習プログラム
- 9/8 南丹広域振興局「亀岡消費者大学」
- 10/25 京都府 事業者対象「2050CN」
- 12/13 山城南保健所「環境セミナー」

<団体等>

- 5/17 大学生協消費者タスクチーム 学習会
- 5/29 省エネ普及ネット・京都 総会
- 6/3 祇園祭ごみゼロ大作戦リーダー研修「2050CN」
- 6/4 宇治田原環境パートナーシップ会議 総会
- 7/7 福知山市連合婦人会 学習会
- 10/11 フューチャーデザイン宇治 ワークショップ講演
- 11/2 京都乙訓ロータリークラブ 11/5 むこう☆緑のバトン
- 12/2、12/16 龍谷大学学生気候市民会議、講師、「2050CN」
- 1/30 京都洛南ロータリークラブ
- 3/12 京都電気消防設備団体連絡協議会「設立10周年記念式典」

<市町村>

- 6/5 久御山町「環境の日」
- 8/8、8/9 木津川市&精華町「ソーラー工作教室」
- 8/21 向日市 環境市民講座「再エネ工作教室」
- 9/22 綾部市 講演・ワークショップ
- 10/27 木津川市幹部職員研修「2050CN」
- 10/28 京丹後市「ゼロカーボン推進フェア」
- 11/21 京丹後市 事業所の脱炭素経営促進セミナー
- 11/23 精華町「環境のつどい」
- 12/17 京丹後市「再エネ・温暖化教室」
- 1/22 宇治市議会 産業・人権環境常任委員会 研修会
- 2/8 京都信用金庫×京都市 合同研修「2050CN」
- 2/22 久御山町「第4回省エネ対策学習会」

※「2050CN」=カードプログラム2050カーボンニュートラル

調査研究

理事、スタッフは、地球温暖化防止に関する学術研究も行なって、発信しています。

法人総会

6/17にNPO法人総会をZoomと会場のハイブリッドで開催。意見交換を行いました。



HOUSEDO

ご寄付

池田泉州銀行 SDG's 私募債『絆ふかまる』を通じて、寄付申出者の株式会社 And Doホールディングス様の指定により、ご寄付をいただき、有効に活用しました。



脱炭素型のステキな京都をつくるため、

入会のご案内



NPO法人 京都地球温暖化防止府民会議の会員になって、

一緒に活動しませんか？

正会員・準会員・
賛助会員のいずれも、京都府内の気候変動対策に関する情報が届きます（メールや資料の郵送等）
会員交流会（情報交換、ネットワーキング）に参加できます

正会員

NPO法人 京都地球温暖化防止府民会議の総会に出席する等、運営に積極的にかかわって活動できます。

年会費
個人2,000円／団体3,000円

準会員

総会での議決権はありません。
情報が欲しい方、ネットワーキングに参加したい方。年会費
個人2,000円／団体3,000円

賛助会員

総会での議決権はありません。
資金面で直接支援したい方。
※貸出用環境教材や活動支援の充実等に活用させていただきます。個人・団体ともに
年間1口10,000円から

活動を支援してください！

京都府温暖化防止センター／NPO法人京都地球温暖化防止府民会議への支援は2つの方法があります。

寄付

任意の金額から
詳細は事務局へお問合せください

● 個人様、団体様、企業様より、環境貢献の一環として、ご寄付をいただいています。独自の方法（売上の一部を寄付。サービスの提供等）でご寄付いただくことも可能です。

● みなさまからお寄せいただいた寄付金は、温暖化防止活動・気候変動対策のさまざまな活動に有効に活用し、大切に使用させていただきます。

● 差し支えなければ、ご寄付いただいた団体・企業様のお名前をホームページにて紹介させていただきます（PRにもご活用いただけます）。

協賛

詳細は事務局へお問合せください

● ホームページにバナー広告を出していただくことでご協賛ください。

● イベントの景品（エコ商品）提供、協賛金の提供等でご協賛ください。

まずは、情報をお届けします。SNSにご登録ください。

